



No.146
平成26年9月19日

議会広報

いえそん



▲未来の伊江村を担う青年会員のみなさん

- 一般質問…………… 2 ●意見書…………… 9
- 議決の結果…………… 7 ●議会の活動…………… 10

議会広報
いえそん No.146
平成26年9月19日

発行／伊江村議会
〒905-0592 沖縄県伊江村字東江前38
TEL:0980-49-2924
編集・印刷／(有)サンエス
TEL:098-889-7421

(10)

議会の活動

平成26年6月

- 1日：海神祭(全議)
- 2日：GtewayEnglishオープニングパーティー(正副議長)
- 5日：沖縄防衛局との意見交換会(全議)
平成26年度伊江村学力向上推進大会(全議)
- 9日：議会広報特別委員会
- 10日：太陽の花伊江支部総会(議長)
- 13日：議会運営委員会



▲海神祭

- 18日：第7回伊江村議会定例会(19日まで)
- 22日：伊江村郷友会総会(議長、島袋義範議員、山城克己議員、仲宗根清夫議員)
- 23日：沖縄県全戦没者追悼式(議長、島袋義範議員、山城克己議員)
- 24日：第3回小中学生ゴルフ伊江島大会実行委員会総会(議長)
- 25日：伊江漁業協同組合通常総会(議長)
- 27日：一般社団法人伊江島観光協会定期総会(議長)
- 29日：伊江中学校運動会(全議)



▲沖縄防衛局との意見交換会

平成26年7月

- 1日：有限会社トータルケア結10周年祝賀会(議長)
- 3日：平成26年度伊江村青少年健全育成協議会総会(議長)
- 4日：伊江村さとうきび生産振興大会(全議)
- 6日：関東伊江島城会第21回定期総会(議長)
- 11日：北部市町村広域事務組合臨時総会(議長)
平成26年度伊江村婦人の主張大会(全議)
- 12日：沖縄県消防協会北部地区支会体力錬成大会(議長)
- 13日：平成26年度イージマ郷友会総会(議長)
- 22日：第8回伊江村議会臨時会
- 25日：北部振興会総会(議長)
- 29日：北部市町村議會議長会定例会伊江島開催(議長)



▲伊江村さとうきび生産振興大会

平成26年8月

- 4日：正副議長・正副委員長研修会
- 11日：カンボグランデ100周年
コロニア・オキナワ60周年式典(副議長)24日まで
- 12日：伊江村和牛改良組合総会(議長)
- 15日：JA沖縄伊江支店謝恩夏祭り(全議)
- 29日：沖縄21世紀ビジョンの早期実現を求める
県民の会発会式(議長)



▲伊江村畜産共進会

どうぞ 傍聴席へ

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。



TEL 0980-49-2924(直通)

伊江村議会HPで 最新情報を！

この紙面に掲載された一般質問や質疑応答の内容は、会議録に基づいて一部を要約したもののです。

さらに詳しく知りたい方は、各区公民館、中央公民館、村議会HPで会議録をご覧ください。

<http://www.iejima.org/iegikai/>
(伊江村のホームページからもアクセスできます。)



議決の結果

平成26年第7回定例会

議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果
承認 第1号	専決処分した伊江村税条例の一部を改正する 条例の承認を求めることについて	村長	6月18日	原案 承認
承認 第2号	専決処分した伊江村国民健康保険税条例の一部を 改正する条例の承認を求めることについて	村長	6月18日	原案 承認
報告 第3号	平成26年度伊江村人材育成会の業務報告について	村長	6月18日	原案 報告
報告 第4号	平成25年度伊江村一般会計繰越明許費繰越計算書の 報告について	村長	6月18日	原案 報告
報告 第5号	西崎漁港第2沖防波堤改良工事の 専決処分の報告について	村長	6月18日	原案 報告
議案 第45号	伊江村ICT関連業務業者選定委員会設置条例	村長	6月19日	原案 可決
議案 第50号	伊江村固定資産税の課税免除に関する条例の 一部を改正する条例	村長	6月19日	原案 可決
議案 第51号	西崎漁港第2沖防波堤改良工事の請負契約の 変更について	村長	6月19日	原案 可決
議案 第52号	村づくり交付金事業伊江地区自走式 ロータリースクリーン購入契約について	村長	6月19日	原案 可決
議案 第46号	平成26年度伊江村一般会計補正予算(第2号)	村長	6月19日	原案 可決
議案 第47号	平成26年度伊江村診療所特別会計補正予算(第1号)	村長	6月19日	原案 可決
議案 第48号	平成26年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	村長	6月19日	原案 可決
議案 第49号	平成26年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	村長	6月19日	原案 可決
意見書 第3号	年金のさらなる削減の中止を求める意見書(案)	議員	6月19日	原案 可決

1.伊江村における人材育成の取り組み

村長／受益者たる若者の定義は、全村的な取り組みが実施される地域内に在住する20歳未満の若者である。この定義に基づいて、県内両紙にショッピングな記事が取り上げられてきた。2040年までの全国の地方で、子どもを産む若年女性の数の試算結果である。沖縄県において各市町村ごとに公表されており、伊江村は2番目に減少率が高く45%となっている。26年後の予測結果である。村ではさまざまな施策を打ち出し、安心して子どもを産み育てる目標のもと取組んでき

1. 伊江村における人口減少の対策について

た。しかし、今回の報道を見て、もつと抜本的に対策を立てないと、村の存続に係る公表だと認識している。そこで伺いたい。
① 国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計人口をもとに「日本創成会議」の分科会が発表とある。中身と内容は、村がどのように統計資料にかかわったか。
② 今後の対応をどのように考えているか。

A black and white portrait of Yamashita Katsushi, a middle-aged man with dark hair, wearing a light-colored, short-sleeved button-down shirt with a subtle geometric pattern. He is looking slightly to his left. To his right, there is a large, bold, vertical text overlay in a traditional Japanese calligraphic style that reads 'ここを問う！' (Koko o Mōzu!). The background is plain white.

答 1 点目 村として直接資料提供を行ったわけではなく、5年一度実施される国勢調査のデータをもとに算出されている。

2点目、現在、村では少子化対策の一環として「子育て支援金の増額」に加え「一般不妊治療費の助成」に向けた調査を実施しているところである。さらに、「子育て支援事業」として「やんばる町村ファミリーサポートセンター事業」「子ども医療費助成」「親子ふれあい事業」等も実施している。それらの事業がより効果を發揮するには、受益者たる若者の定着と流出防止策等長期的、全村的な取り組みが必要だと考える。村としても、国・県の人口減少対策と歩調を合わせながら、伊江村独自の施策も織り交ぜ、人口減少率を可能な限り克服し、2040年の村の未来が明るいものとなるよう取り組んでいきたい。

各区で実施した「行政懇談会」においては、多くの村民の意見が寄せられた。男女の出会いの場創出など新たな領域への取り組も模索しながら、村民の声に耳を傾け人口減少問題に取り組みたい。

問 伊江村の人口の約8千人。平成20年に5千人をきり25年度末での間に子育て支援、児童生徒への助成金、子育てのためのいろんな施策に取り組まれてきた。しかし、そういう支援では現実的に人口がどうなったかといふと約300人弱人口は減つた。「沖縄21世紀ビジョン」がふしまづくり」ということで人口を増やす取組をうまく活用して、26年後に伊江村の人口は3千人切るのではなく、8千人にするとか、県が目標達成のために決定している206の事業、それを積極的に活用、利用していくことが必要ではないか。

問 農業所得年間均所得が2500万円の町があり、その地域は人口の問題も子育ての問題も何もない。儲かる農家だから後継者も安心して子どもを産む。この村も昔は人々から捨て去られた忘れられた村だったそういうのが、1人の町長が思つたリーダーシップもとに改革をして現在に至つた。伊江村も農業において全農家1千万円所得を打ち出すとか、その計画を役場で推進するとか、思い切つた対策を立てないと26年後の私たちが後悔しないことをできればと思う。行政や議会でそこを調査し、伊江村でも似たようなことが取り組めないか。

年金のさらなる削減の中止を求める意見書

政府は、昨年10月、「年金の2.5%削減」のうち1%の削減を実施しました。

これに対して全日本年金者組合では、全国で12万6千余、県内で709名の「年金削減不服審査請求書」を年金事務所に提出しました。これは、年金引き下げに対する広範な高齢者の怒りの強さを示すものです。それにもかかわらず、本年4月にはさらに0.7%（実質1%）削減を施行しました。これは、高齢者の生活の実態を無視した暴挙といわねばなりません。

そもそも、年金削減の根拠として「特例水準の解消」を理由としていますが、これは2000年から2002年に消費者物価指数が下がったときに、「現下の社会情勢」に鑑み、つまり高齢者の窮状と経済への悪影響に考慮して据え置かれたものです。しかし、食品などの生活必需品の値上げ、各種控除の縮小などによる増税、社会保険料のあいつぐ引き上げなどで高齢者の生活は厳しさを増しています。いま10年以上も以前の「据え置き」を解消する状況にはありません。

沖縄県内の高齢者の多くは、年金制度の施行が「米軍事政権下にある」とことで大幅に遅れたために、国民年金受給額が全国平均より月額で約2,000円も低く、また、厚生年金の受給月額にいたっては約20,000円も低く、更に無年金者は全国平均の3倍近くもあり、さらなる年金の削減は、沖縄県の高齢者の生活をより一層深刻な状況に追い込むものです。

年金は自治体の高齢者に直接給付される収入であり、特に大都市部をはなれた沖縄県の本村では、その年金の削減は消費を冷え込ませ、不況を一層深刻にし、国の経済にも負の影響を与えることが懸念されます。年金のさらなる削減は、「経済の好循環」に逆行するものです。

さらに、2.5%削減に続いてマクロ経済スライドの実施など限りない年金削減の流れが計画されていますが、このことは、若者を中心に年金離れが一層進むことになり、年金制度への信頼がさらに低下することが懸念されます。

このような事態を踏まえて、高齢者の生活と地域経済を守るために「年金のさらなる削減の中止」を求めます。

以上地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

平成26年6月19日
沖縄県国頭郡伊江村議会

宛先
内閣総理大臣 安倍 晋三 殿
厚生労働大臣 田村 奎久 殿

議決の結果

平成26年第8回臨時会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
議案 第53号	平成26年度 伊江村一般会計補正予算(第3号)	村長	7月4日	原案 可決
議案 第54号	伊江小学校校舎・伊江幼稚園園舎改築併行防音工事(建築)の請負契約について	村長	7月4日	原案 可決
議案 第55号	伊江小学校校舎・伊江幼稚園園舎改築併行防音工事(電気設備)の請負契約について	村長	7月4日	原案 可決
議案 第56号	伊江小学校校舎・伊江幼稚園園舎改築併行防音工事(機械設備)の請負契約について	村長	7月4日	原案 可決
議案 第57号	西崎漁港第1沖防波堤改良工事請負契約について	村長	7月4日	原案 可決
議案 第58号	伊江村ユビキタスネット構築工事の請負契約について	村長	7月4日	原案 可決

沖縄防衛局との意見交換会

平成26年6月5日、在沖米軍によるパラシュート物資投下訓練等に関する意見交換会を、沖縄防衛局の田中企画部長他3人と行った。
多発する事故の今後の防止策等について活発な意見交換会が行われた。

